

平成30年3月12日
九州地方整備局
山国川河川事務所

山国川馬溪橋を存置した対策の国・県・市の取り組み報告会の開催

～「平成29年度馬溪橋対策連絡調整会議」の開催～

平成24年九州北部豪雨の際に、山国川の氾濫により甚大な被害が発生した耶馬溪町平田地区・戸原地区において、馬溪橋を存置した河川改修工事を実施中です。

存置した馬溪橋は、大分県指定有形文化財(H30.1.22指定)であり、国指定名勝耶馬溪「山国川筋の景」の重要な構成要素ですが、一方、洪水時の流れを阻害し、流木を捕捉すればアーチ部が閉塞する危険があります。

国・県・市においては、河川改修工事とともに、馬溪橋存置のリスク等踏まえ、防災・減災ソフト対策や馬溪橋を活用した地域振興策等の目標を定め、取り組んでいるところです。つきましては、下記の日程で取り組み状況を報告する「平成29年度馬溪橋対策連絡調整会議」を開催します。

- 日 時 平成30年 3月20日(火)
開始時刻：15:30～ 1時間程度
- 場 所 会 場：国土交通省山国川河川事務所 会議室
(中津市大字高瀬1851-2)
- 議 題 馬溪橋に関する国・県・市の取り組み
■傍 聴 公開で行います。
(議事進行の妨げにならないよう配慮をお願いします)
※満席になった場合はお断りする場合があります。
- 参 考 山国川治水対策検討委員会(存置案を検討した委員会)の資料は
山国川河川事務所のHPより
<http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/office/yamakuni/tisuitaisakuiinkai.html>
馬溪橋周辺整備活用マスタープラン(地域振興策)の資料は中津市HPより
<http://www.city-nakatsu.jp/infodoc/2015122800115/>

【問い合わせ先】

国土交通省九州地方整備局

山国川河川事務所

技術副所長 篠原 昌秀(内線 204)

調査課長 熊井 教寿(内線 351)

代表：0979-24-0571

会場案内図



会場の付近図 (拡大図)



馬溪橋対策連絡調整会議（国・県・市）の内容

- ◆ 馬溪橋を存置した治水対策を行うことを決定（H27.5）
- ◆ 存置した治水対策の課題の共有、「課題に対する取組事項」について役割分担を明確し、着実に事業を進めるために、国・県・市で構成される馬溪橋対策連絡調整会議を発足
- ◆ 調整会議は、下記の5部会で構成されており、各部会で平成28年3月にアクションプランを作成
※アクションプランとは、具体的な施策を盛り込んだ実施計画
- ◆ 今回は、平成29年度の取り組み状況を報告

- ①治水部会
 - ・国が地域振興を踏まえた治水対策を実施中
 - ・流入支川対策について、国・県・市で調整し内水被害を軽減
- ②防災ソフト部会
 - ・防災・減災ソフト対策アクションプランを作成
 - ・国・県・市で役割を分担し、実施中
- ③流木部会
 - ・流木抑制ための流木対策アクションプランを作成
 - ・国・県・市で役割を分担し、実施中
- ④橋梁補強部会
 - ・市が橋梁補強を実施中
- ⑤地域振興部会
 - ・馬溪橋周辺整備アクションプランを策定
 - ・市・国で「馬溪橋周辺地域振興座談会」を開催し、地域振興を検討中

実施・継続に向けて取り組む
毎年、調整及びフォローアップとして、調整会議を開催